

## 第2回救急時の対応策検討のための意見交換会 in 本庁・首里

講演①：『今さら聞けない！誤嚥性肺炎とは ～明日から活かせる食支援の視点～』  
講師：合同会社 Comer 代表／摂食・嚥下障害看護認定看護師 大城 清貴 氏

講演②：『軽症の搬送を防ぐために、在宅医療にできることがあるかもしれない』  
講師：きなクリニック 院長／那覇市医師会 副会長 在宅医 喜納 美津男 氏

- 日 時：令和6年12月11日（水）  
午後7時00分～9時00分
- 場 所：沖縄県医師会・3階ホール
- 参加者：42名



- 【目的】①高齢者施設のケアの質や対応力向上を強化し、不必要な軽度救急搬送の予防を目指す。  
②救急時の「同乗問題」や病院での「待機問題」についての課題抽出と現状把握。システム会議（施設×医療機関×（消防局））へその声を反映させ、解決・連携強化を目指す。
- 【対象】有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、特別養護老人ホーム等

**サマリー** 参加者のアンケート回収率は69%、参加者の約半数が介護職であり現場での率直なご意見がうかがえた。大城氏の講演では、今回も実際に摂食嚥下障害が起きるメカニズムを参加者それぞれで実際に体験してもらい、明日にでも現場の食支援で実践できるような学びがあったとの感想が多く、現場スタッフにも共有していきたい、もっと深く学びたいと意欲的な意見も多数あった。喜納氏の講演では、訪問診療医や病院との連携の大切さや搬送前の判断に迷った際に相談できる救急電話相談#7119を活用していきたいとの感想が多かった。「救急搬送時の情報共有シート」については、今後活用していきたいとの前向きなご意見がある一方で、まだまだ改善の余地があるとのご意見もあり、まずは那覇市立病院でテスト運用し、病院・消防・施設の三者ができるだけ負担のないようなスムーズな連携が図れるよう今後も引き続き意見交換を重ねていきたい。

大城 清貴 氏  
Comer 代表  
摂食・嚥下障害看護  
認定看護師



喜納 美津男 氏  
きなクリニック  
在宅医



佐久川 伊弘 氏  
NPO法人ゆくり  
【司会】



グループワーク発表



救急時の対応策検討のための意見交換会  
～救急搬送について解決の糸口をみんなで探してみませんか～  
主催：那覇市立病院 介護連携支援センター ちゅいしーじー部局

## 第2回救急時の対応策検討のための意見交換会

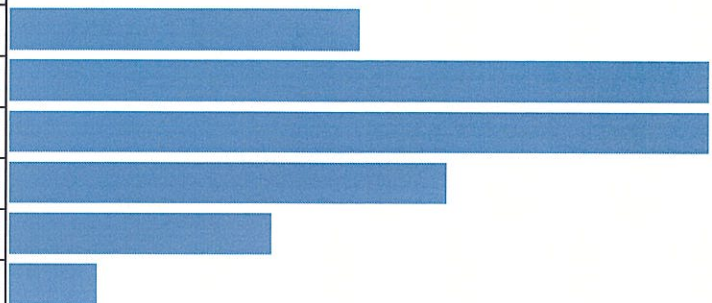
日時：令和6年12月11日（水） 19：00～21：00

場所：沖縄県医師会・3階ホール

参加者：42名 回答者：29名（69%）

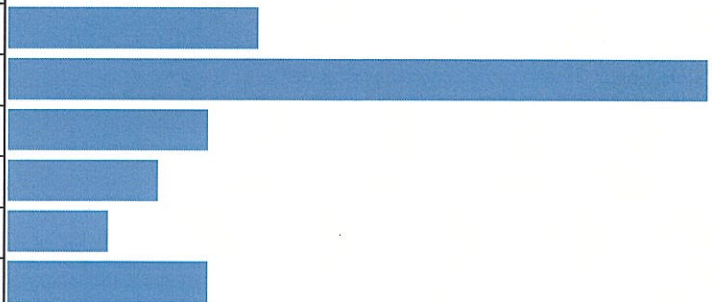
### 1. 経験年数について

経験年数	人数	割合
1～5年未満	4	14%
6～10年未満	8	28%
11～20年未満	8	28%
21～30年未満	5	17%
31年以上	3	10%
無回答	1	3%
総計	29	100%



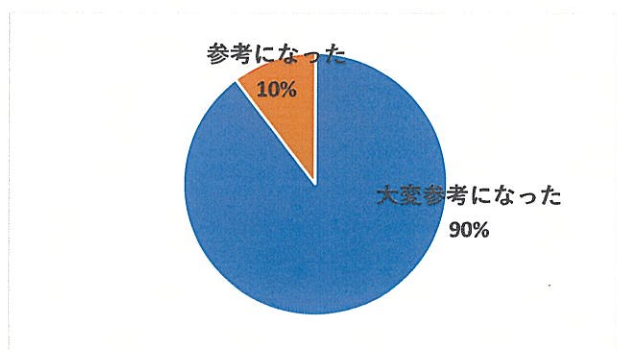
### 2. 職種の内訳（複数回答あり）

職種	人数	割合
看護師	5	16%
介護職（ヘルパー等）	14	44%
経営者・管理者	4	13%
ケアマネジャー	3	9%
その他	2	6%
無回答	4	13%
総計	32	100%



### 3. 演題：『今さら聞けない！誤嚥性肺炎とは ～明日から活かせる食支援の視点～』（講師：大城 清貴氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	26	90%
参考になった	3	10%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
総計	29	100%

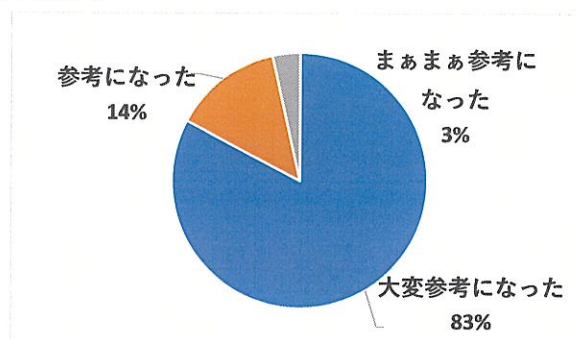


- ・嚥下の評価は、食べ物がなくてもある程度の評価が出来る事が学べた。講義の中で、先行期・準備期・口腔期の観察が大事と理解できたので実践していきたい。
- ・施設に戻り、アセスメントの基準となる内容で良かった。明日から確認していきます。
- ・誤嚥性肺炎について深く学びたいと思いました。評価の仕方なども、再確認して介護スタッフや専門職にも教育していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・もっと深い所まで知りたいと思いました。
- ・理解していると思っていましたが、改めて自分で嚥下をすることで、利用者様がどれほどの不自由を感じているのかと考えることができました。明日から、もっと観察し職員とも意見交換していこうと思います。
- ・嚥下機能が悪い方が多いので、すごく参考になりました。是非、機会があったら先生に来てほしいです。
- ・誤嚥について再認識と新たな知識を得る事ができました。自施設に持ち帰って伝えていきたいと思います。
- ・もう少し深くお話しを聞きたいです。
- ・段階を追っての説明でとても分かりやすかった。もっと聞きたい！Good！
- ・誤嚥のメカニズムをより詳しく分かりやすく、明日から使える技術もあり学びにつながった。
- ・初めて知る事もあり、改めて大事だと思う事がありました。
- ・前回は参加したが、1回だけでは内容を忘れていたので再確認できて良かった。
- ・嚥下のメカニズムが知れて良かった。明日から活用していきたい。
- ・演習をしながら説明を聞いたので大変分かりやすかったです。
- ・嚥下のメカニズム、お口の動きのチェック方法
- ・嚥下の確認も重要で咀嚼の仕方や見方が勉強になりました。
- ・嚥下のメカニズムについて詳しく聞けたので、入居者に対してどこに問題があるかもう一度確認し実施していきたい。
- ・肺炎には色々な要素があると改めて思った。嚥下にも5期のモデルがあり、とても勉強になった。
- ・現場の人材育成に来ていただきたいと思いました。当施設にはSTがおらず、嚥下評価が困難だと感じていたが、パ・タ・カで評価していきたいと思う。
- ・嚥下状態が心配な人がたくさんいるので、嚥下について知ることで、見るところ、注目点が変わると思いました。
- ・肺炎だけでなく全体的の流れを改めて理解でき、今後のケアや支援に活かしていきたいと思います。

- ・施設で勉強する機会がなく不安なこともあったが、基本を知る事が出来て参考になりました。「パ・タ・カ」については試してみたいと思います。また、施設に来て頂いてもっと詳しく聞きたいと思いました。
- ・誤嚥性肺炎を防ぐための予防体操（パ・タ・カ）や嚥下障害の判断を再認識することができました。
- ・アセスメントの参考になる。専門職との連携はどの場面でも大切。
- ・嚥下のメカニズムが分かれば、ただ食事をあげるだけでなく、注意してムセ込みや予防ができるのではないかと思います。
- ・口や舌を使わないと飲み込みは出来ないと知りビックリしました。咀嚼に関することも勉強になりました。ありがとうございました。
- ・先行期、準備期、口腔期が重要なことが分かった。

**4. 演題：『軽症の搬送を防ぐために、在宅医療にできることがあるかもしれない』  
（講師：喜納 美津男 氏）は参考になりましたか。**

選択肢	人数	割合
大変参考になった	24	83%
参考になった	4	14%
まあまあ参考になった	1	3%
参考にならない	0	0%
総計	29	100%



- ・救急搬送がひっ迫している。また、軽度搬送が多いことが分かった。搬送前に相談できるサービスで#7119があることを知り、活用していきたいと思った。
- ・連携方法等、いろいろ分かりやすかったです。活用できる物は活用していきます。
- ・少し難しいと感じました。もう一度復習して地域連携に繋がれるようにしていきます。
- ・知らない事だったのでかなり参考になりました。
- ・訪問診療の先生方との連携を図り、施設内で出来るケアを行っていきたく思います。今後ともよろしくお願いします。
- ・かかりつけ医、何でもできる協力的な相談先を早めに準備しておくことの大切さを感じました。
- ・施設や病院を上手く連携できるように働きかけることが分かりました。とてもありがたいと感じました。私たちも働いている職員に伝えていきたいと思います。
- ・救急地域連携の仕組み、位置づけについて理解できた。
- ・#7119など知ってはいたがどんな事を聞いたらいいのか、分からなかった部分もあった為、学びにつながった。

- ・ #7119について知ることができた。
- ・ 救急搬送が必要な人がしっかり使用できればいいと思う。
- ・ 95%が在宅医療を受けていないという現状がある。#7119（救急センター事業）の制度があるとは知らなかったので活用していきたい。かかりつけ医との連携。
- ・ 地域包括医療病棟、かかりつけ医
- ・ 救急車の台数が7台。とても重要で、説明も分かりやすかったです。
- ・ かかりつけ医、大事だなと思いました。
- ・ 在宅医療を使っていない方が多いということを初めて知った。
- ・ 訪問診療医と良き関係を築きたい！
- ・ #7119の存在を知ったので、今後施設でも活用できたらいいなと思います。
- ・ 搬送について詳しく聞いて良かったです。
- ・ #7119を活用していきたいと思います。現状は訪問診療医に頼っています。
- ・ 有料の施設だが、訪問診療の先生と看護師と信頼できるように情報共有をして連携を図るようにしていきたいと思った。
- ・ #7119。救急搬送に迷った時、とても助かると思いました。ありがとうございました。
- ・ 救急車が7台しかないのは驚いた。

## 5. 病院からの【救急搬送時の情報共有シート】について、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

- ・ 様式は違うが連携シートを活用しています。時々、追加で情報が足りないと要求される事がありますので、事前にアセスメントシート（自施設）、薬剤情報、DNARを別紙で用意して対応しています。今後は、全ての病院が活用できるようにして頂けると不安の解消につながります。
- ・ 参考になりました。持ち帰って活かしたいと思います。
- ・ シートを使用し同乗しなくて済むのなら良いと思いました。ぜひ活用してほしいです。
- ・ 施設で活用することを検討していきたいと思います。
- ・ 安定時のバイタル・ADLなどの更新に抜けが出そうで少し不安です（管理面）。
- ・ 連携シートが分かりやすくなりました。提出したシートが施設に戻ってくることと連携が取れていることが伝わっていると感じました。
- ・ 食事の欄は主食と副食を分けた方が良い。

- ・数年前から緊急連携シートを活用しているので、救急搬送についてはかなりスムーズになってきました。
- ・今後、活用したいと思えた。
- ・チェック方式にして欲しい。日頃のADLは入院時にしか必要ないと思う。DNARは家族に確認していても状況により変わることもある。
- ・緊急連携シートを提案して頂き、それに沿ってグループワークした事が大変良かったし、是非活用させて頂きたい。とても分かりやすく使いやすいと思いますが、まだ色々と検討の余地があると思います。
- ・"緊急連携シート"が各救急受け入れ病院に統一共用できれば素晴らしいと思います。市立病院だけではなく各受け入れ病院で、このシートが使用できるといいですね！
- ・緊急連携シート見やすく使いやすいでした。救急隊員に口頭で伝えている事等も記載されていて是非とも施設で取り入れていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・分かりやすく見やすいです。
- ・参考にさせていただきます。同乗せずに済むなら詳しく記入も必要だと思いました。
- ・安定時のバイタルサインを書くところは必要なのか？と思った。
- ・那覇にある病院だけでなく、沖縄県全体でこのシートを活用できたらいいなと思います。シートを渡せば救急車に乗らずに済むのであれば本当にぜひ使いたいです。
- ・経験が浅い介護職ですが、連携シートがあれば安心です。
- ・施設内のケアカルテでほぼ同じ情報が網羅されているため、変更は難しいと考える。
- ・他施設の話聞いて良かった。参考になった。那覇市はこれで統一したい。
- ・安定時のバイタルサインは入院が決まった日に後日看護サマリー等でFAXしたらいいのではないかと思います。
- ・完成形が出来ましたら、データで頂けると助かります。よろしくお願いします。介護施設では限られた職員でケアをしています。救急車への同乗がしなくてもいいシステムができればとても助かります。
- ・三項目を統一してくれれば安心して搬送ができる。

## 6. グループワークはいかがでしたか。また、全体を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。

- ・他事業所との意見交換がとても良かったです。定期的に参加したいと思いました。

- ・ 沢山意見が集まって学びの多い勉強会（意見交換会）でした。
- ・ 他の事業所の色々な事が聞けて良かったです。今後もこういう機会があれば参加したいです。
- ・ 別事業所の困った事など聞くことができ良かった。
- ・ とても活発に意見交換出来て良かったです。
- ・ 共有できて良かったです。なかなか交流の機会がないのでありがとうございました。
- ・ 他施設の情報が聞けて良かったです。同じような悩みや工夫が手に入って良かったです。今後も研修をお願いします。
- ・ グループワークは良かったと思います。
- ・ 違う施設・職種の皆さんから積極的な意見が聴けて参考になった。少し時間が足りなかったと思う。ファシリテーターの高良さんありがとうございました。
- ・ 様々な意見交換ができ今後活かしたいと思えた。
- ・ 他事業所も同じ悩みだった。事業所連携して問題を解決できたらいい。
- ・ 他事業所でも救急時の対応に困っていることが多く、自分達だけではないと知れたのは良かった。病院との連携が少しずつ出来るようになればいいと思う。
- ・ とても有意義で参加させて頂き、ありがとうございました。
- ・ ご意見が色々聞けて良かったです。
- ・ 他施設の意見も参考になりました。
- ・ 色々な意見が聞けて勉強になりました。
- ・ 色々なところの話を聞いて大変なところの内容は皆一緒だった。
- ・ 他の職場の現状を知ることができて良かった。
- ・ 施設でも在宅でも、同じような悩みがあると知り少し安心しました。今後シートを活用して病院とスムーズな連携がとれればいいなと思います。
- ・ 他事業所の方のお話、とても参考になりました。
- ・ 施設間の情報共有ができて良かったです。
- ・ 時間が短く感じた。
- ・ どの施設でも困ったこと（内容）は一緒でした。
- ・ 色々な情報を聞いたので良かったです。ありがとうございました。
- ・ レベルが高いけどすごく勉強になりました。